

東日本大震災学童保育募金へ ご協力をお願い

二〇一四年五月 全国学童保育連絡協議会

東日本大震災と原発事故から三年あまりが経過しました。学童保育においては（原発二〇キロ圏内を除く）、保護者、指導員、行政関係者などの努力により、多くの施設が再開され、子どもの放課後や長期休業中の生活を守り、働きながら子育てをする家庭を支えています。

しかし、震災以前から、学童保育の整備はたいへん不十分なものでした。被災した地域の学童保育が本来の役割を果たすことができるよう、全国学童保育連絡協議会は国と自治体に、緊急に求められている支援とともに、学童保育の制度・施策の抜本的な拡充・確立を求めてきました。

それと同時に、二〇一二年三月一四日、被災した地域の学童保育を支援するための募金を広く全国の学童保育関係者に呼びかけ、それから三年余りの期間に全国各地の皆様から寄せられた募金は、四二五四万八五三円になりました（二〇一四年三月三一日現在）。あらためて、これまでにご協力くださった皆様に心から御礼申しあげます。

全国学童保育連絡協議会ではこれまで、全国各地の学童保育関係者の皆様から寄せられた募金をもとに、

被災した地域の行政や学童保育関係者と相談しつつ、つぎのような取り組みを行ってきました。

- ① 学童保育施設の再建への支援
- ② 学童保育に必要な備品等への支援
- ③ 運営費への支援
- ④ 研修・相談活動など指導員への支援
- ⑤ 放射線被害から子どもたちを守るために必要な方策への支援
- ⑥ 学童保育の復旧・復興・発展を進める体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会等に対する支援

現在、全国学童保育連絡協議会のもとにある募金残高は一六万三八一八円です。被災した各地域での、「安全で安心して生活できる学童保育」をつくっていくための息の長い取り組みは、これからも必要です。この先の一年間を見通しても五〇〇〇万円程度は支援が必要になっていきます。

全国の学童保育関係者の皆様、ぜひ、状況をご賢察いただき、被災した地域の指導員と保護者を助け、子どもたちの安全と安心を保障する学童保育づくりのための募金に、皆さんのさらなるご協力をお願い申し上げます。

東日本大震災 学童保育募金の振込先

銀行コード:0005 店番:351
三菱東京UFJ銀行 本郷支店
普通預金 0012273

全国学童保育連絡協議会 代表 きだやすお 木田保男
問い合わせ先:全国学童保育連絡協議会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13
Tel 03 (3813) 0477 Fax 03 (3813) 0765